

2020年度 科目別 授業計画(シラバス)

科目名	保健	必修 選択	必修	年次	2	開講区分	後期
コース	トップスタイリスト科	授業 形態	講義	単位 時間	1 30	曜日・時限	火曜 4限
教員	春名 千英子						

【到達目標】

人体の構造および機能を理解しよう。また、皮膚・皮膚付属器官の構造および機能を理解しよう。

【授業の学習内容】

理容師・美容師は、頭部や顔部を中心とする人間の美と健康に携わる保健衛生分野の職業である。人体の構造(解剖学)と機能(生理学)に関する知識を身につけよう。また、皮膚や毛髪に鋭利な刃物や薬品などを使用する業務の特徴から、とくに皮膚や毛髪に関する深い理解を欠くことはできない。皮膚とその付属器官について詳細に学ぼう。

【教員実務経験】

歯科医師、歯学博士、福岡歯科大学臨床准教授。公衆衛生学分野にて学位取得。

	日程	授業形態	授業計画・内容	小テスト・定期試験
1	1回目	講義	・骨と筋肉の種類とそれぞれの役割	
2	2回目	講義	・神経系の成り立ち	小テスト(前回範囲3点)
3	3回目	講義	・循環器系(心臓と血管)の働き	小テスト(前回範囲3点)
4	4回目	講義	・呼吸器系の働き	小テスト(前回範囲3点)
5	5回目	講義	・消化管の仕組みと役割	小テスト(前回範囲3点)
6	6回目	講義	・感覚器・内分泌と外分泌	小テスト(前回範囲3点)
7	7回目	講義	中間試験(終了後に解答解説)	中間試験20点
8	8回目	講義	・皮膚の構造	
9	9回目	講義	・皮膚付属器官(毛・皮脂腺・汗腺・爪)	小テスト(前回範囲3点)
10	10回目	講義	・皮膚と付属器官の保健(老化・保護と手入れ・栄養・環境・体内病変・ホルモン)	小テスト(前回範囲3点)
11	11回目	講義	・皮膚と付属器官の疾患(皮膚炎・角化異常・色素異常・分泌異常)	小テスト(前回範囲3点)
12	12回目	講義	・皮膚と付属器官の疾患(細菌・ウイルス・真菌・動物による皮膚疾患)	小テスト(前回範囲3点)
13	13回目	講義	・これまでの授業の重点項目を復習	小テスト(前回範囲3点)
14	14回目		期末試験(人体解剖から10点分、皮膚から40点分)	期末試験50点
15	15回目	講義	期末試験フィードバック・成績評価	

準備学習 時間外学習	準備: 時間外学習:授業のノート整理、項目の復習、過去問題の練習
評価方法	●習熟度 : 100点(到達目標に対する成長具合や習熟度) ◇出席 : TS・実践・TB・HM・BR・国Bは70%以上、美容師は出席率80%以上(下回る場合は単位認定は無し、E評価となる) ◇合否 : 60点以上で合格(A:100~90 B:89~80 C:79~70 D:69~60) 否(E:評価資格喪失、F:59~0) 、実習や習熟度が測れないものについてはS・U評価
受講生への メッセージ	毎授業において配布するプリント類をきちんとファイリングしよう。自身で必要と判断した内容をプリントに記入し、オリジナルのまとめ資料として活用しよう。教科書を読んで予習をし、授業でどんな内容が扱われ、どのような問題意識で取り組めば良いのかを予め考えよう。

【使用教科書・教材・参考書】

理容・美容保健 / 日本理容美容教育センター